

<スクールアルバム>

畑で綿花を収穫・小学部



休み時間にジエンガにトライ！



試験に集中、さすが高校生



中学部クッキング



ウクライナ難民のイヴァンくんを交えてバンド練習



ウクライナともだちフェスティバル、大勢の方が支援してくれました。感謝



お願い・ご報告

- 9月のスクールの活動、行事等は、祝福の中で行われました。お祈り、ご協力を感謝します。
- 9月15日（木）、松本光代氏を講師として特別支援研修会を、日本郵便株式会社による年賀寄附金配分事業の助成を受けて実施しました。大変有意義な研修となりました。
- ウクライナ避難民 E くん（15歳）をスクール生として受け入れました。祝福をお祈りください。
- 10月10日（月・祝）、本郷台キリスト教会主催の「本郷台10×10スポーツデイ」を行います。どなたでも参加できますので、ぜひ参加してください。当日9時30分に野七里人工芝グラウンドに集まってください。9時15分に本郷台駅前から教会の送迎バスを出します。
- 11月2日（水）、保健委員会主催でスポーツデイを開催します。1限は、授業・準備、2限から、思いっきりスポーツを楽しみます。保護者・スタッフの参加も歓迎します。祝福をお祈りください。
- 11月19日（土）10時～11時30分、実行委員会主催で、のあIS文化祭を開催します。詳細は後日お知らせします。ご協力をお願いします。
- 11月に世界食料デーの取組みとして、ハンガーゼロ（日本国際飢餓対策機構）による特別授業を予定しています。

今月のみことば（暗唱聖句）

「こういうわけで、いつまでも残るのは信仰と希望と愛、これら三つです。その中で一番すぐれているのは愛です。」第一コリント13：13

“And now abide faith, hope, love, these three; but the greatest of these is love.” 1 Corinthians 13:13

英語でも覚えましょう。是非ご家庭でもお子さまを励ましてあげてください。

祈禱課題

1. 前期学習のまとめと後期のための準備が整えられますように。
2. スクール関係者のすべてのご家庭に恵みが溢れますように。
3. スタッフが聖霊の助けをいただき、愛と喜びをもって指導できますように。
4. 高3生、HOPE生の次の進路が主にあって導かれますように。



のあインターナショナルスクール スクール通信 10月号

2022.Oct. 1

VOI.184

〒247-0024 横浜市栄区野七里一丁目 37-10

TEL:045-891-9982 FAX:045-895-3761

「おいしいハンバーグの感動」

本郷台キリスト教会 伝道師 月井サムエル

先日、友達とハンバーグレストランに行きました。秋になって食欲が増えたので、300gのハンバーグを注文しました。私は大して味覚が優れているわけでも無く、大して味に期待をしていたわけでも無かったのですがハンバーグ専門のお店だけあって、絶品でした。ジューシーで濃厚ですごくおいしくて、「みんなにこのお店のことを伝えたい！ハンバーグの写メを撮って、妻に見せて報告したい！」と感動しました。

しかし、妻に黙って勝手にハンバーグレストランに行ったことがバレたら妬まれるだろうな、と思い直して内緒にすることにしました。でも、結局次の日に我慢が出来なくなって報告してしまいました。妻は、それを聞いて思いのほか喜んでくれたのでホッとしました。

きっと私だけでなく、人はみんなすばらしい体験をすると、そのことを「人に伝えたい、共有したい」と思うのではないのでしょうか。

クリスチャンもそうです。イエスキリストという神に出会い、「この素晴らしい神の愛を人に伝えたい、共有したい！」と思います。美味しいハンバーグの感動は1日で終わりますが、神の愛への感動は一生ものです。この神の愛を伝えて共有できた時に、クリスチャンは他人のことを自分の家族のように愛することができるようになります。

このように、「感動を伝える、共有する」ということは相手の人生に影響を与える大切なコミュニケーションです。

みなさんのご家庭ではどうでしょうか？

日々の感動をお互いに伝え合える環境が家の中にあるのでしょうか？お子さんの年齢によって話せる内容に違いがあるかもしれませんが、お互いに感動を伝え合う時間と、共有しようとする心の余裕を持つことは家族の中の愛を深めることに繋がります。子どもは自分の話を聞いてもらって受け入れてもらうことで愛を感じます。豊かに愛を受ける子は豊かに人を愛することができます。ですから、お子さんへの教育もさることながら相手の思いを聞いたり、自分の感動を共有したりすることを通して、愛のある豊かな子ども達を育てていきましょう。

もしかしたらあなたが自分の感動を伝えた時に相手からは期待した通りの反応が返ってこないかもしれませんが、でも、それでもいいんです。大切なのは、お互いの感動を伝えられる関係を普段の生活で作っていくことだからです。

それぞれの家庭で、美味しいハンバーグを食べた感動を、共有できる家族の関係を作っていきます。

“見よ。なんとという幸せ なんとという楽しさだろう。

兄弟たちが一つになって とともに生きることは。” 詩篇 133:1

10月のカレンダー

日	月	火	水
2日	3日 赤い羽根共同基金 募金呼びかけ（中高H） ← 3限授業 昼食無し（12時30分下校） * 水曜日は12時10分下校	4日 中高H交流会 （12時30分～14時）	5日 合同礼拝（1限）
9日	10日 スポーツの日 秋休み	11日	12日 後期始業式（1限） 2限～通常授業・昼食開始
	Sさん誕生日		
16日	17日	18日	19日 ヤダ交流会（10時～12時：小1、2 13時～15時：小3～6）
23日	24日 ← フリースクール見学会（10時00分～11時30分）	25日	26日 小学部礼拝（1限） ヤダ交流会（10時～12時：中学部 13時～15時：高等部・HOPE）
30日	31日		

- ・3日（月）～6日（木）は前期終業に向けて3限授業になります。昼食なしで、12時30分下校となります。（但し水曜日は12時10分下校）
- ・3日（月）13時30分～14時30分、スーパーたまや上郷店にて、中高H生は、赤い羽根共同基金の募金呼びかけのボランティアをします。昼食を用意してください。また、現地解散となりますので、自転車通学の人は、登校時スクールバスを利用してください。下校の際は、現地よりスクールバスを出します。
- ・4日（火）12時30分～14時、中高H生は、交流会をします。昼食を持参してください。
- ・7日（金）、1、2限は授業、3限は、ダイヤモンドチャペルに移動して、前期終業式（礼拝）・暗唱聖句の発表を行います。中高H生は標準服、小学生は式にふさわしい服を着用してください。その後、昼食、HRを行い、13時30分より、石井りりこさんによるコンサートを行います。下校は、14時30分、ダイヤモンドチャペルです。なお、HRで、学習の成果や生活の様子をお知らせする「あしあと」（小学生）、「フットプリンツ」（中高H生）をお渡しします。各ご家庭にて保護者の皆さまは必ず目を通してくださるようお願いいたします。
- ・8日（土）～11日（火）は、秋休み（休校）です。
- ・12日（水）、1限に後期始業式（礼拝）を行います。中高生Hは標準服、小学生は式にふさわしい服を着用してください。2限から通常授業、昼食も開始です。
- ・15日（土）10時～12時、岩上真歩子氏を講師としてお迎えし、子どもの心のケア講演会を行います。とても有意義な講演会ですので、皆さまご出席ください。7日（金）までにお申し込みください。参加費は1,000円で、当日お支払いください。詳細は、お配りしたチラシをご覧ください。
- ・19日（水）、26日（水）、ヤダインターナショナルクリスチャンスクール（韓国）とのオンライン交流会を行います。19日（水）は、午前は小学部1・2年、午後は3～6年です。26日（水）は、午前は中学部、午後は高等部・HOPEです。祝福をお祈りください。
- ・24日（月）、25日（火）、27日（木）10時～、フリースクール見学会を行います。公立学校関係の方々や関心のある方々がスクールに来られます。これは県・市の教育委員会主催で、9月から11月にかけて、公立学校と民間のフリースクールが連携して行うものです。本校を紹介したい方がありましたらぜひご案内ください。（3日間とも同じ内容です。）
- ・27日（木）教師・スタッフ研修会のため午前授業、13時50分下校となります。
- ・29日（土）10時～11時30分、本校主催のスクール説明会を行います。本校を紹介したい方がありましたらぜひご案内ください。
- ・10月中に発育測定を行います。

木	金	土
		1 日
6 日	7 日 授業終了 前期終業式・暗唱聖句大会(3限) 午後：コンサート（昼食あり） 14 時 30 分 ダイヤモンドチャペル下校・解散	8 日
13 日	14 日 委員会活動	15 日 子どもの心のケア講演会 (10 時～12 時クリスタルチャペル)
20 日	21 日 クラブ活動 F 先生誕生日	22 日 H 先生誕生日
27 日 4 限授業(昼食あり、13 時 50 分下校) フリースクール見学会 (10 時 00 分～11 時 30 分) 教師・スタッフ研修会	28 日 クラブ活動	29 日 スクール説明会 (10 時～11 時 30 分)



子育て note

私の父親と母親は、私が小学校 5 年生の時に離婚しましたが、その離婚によって私は父親の元に残され、とても嫌な毎日を過ごすようになりました。なぜかという、私は自分の父親が大嫌いだったからです。大嫌いになった経緯は、私がもの心ついた時からいつも、自分の母親が口にする、父親への悪口ばかりを聞いていたからです。私の心は、ぴたりとその母親の心と同調していました。私の父親は、確かに、母親が悪口を言いたくなるような側面を抱えていました。しかし、その後の関わりの中から知った父は、自分にとって尊敬すべき面も持っていたのです。やがて神のあわれみによって、私はその父親に、心から感謝することができるようになりました。今では、自分は、その父親から、自分の存在に関することでは、良き物をたくさん受け継いできていると思っています。

日々に成長しつつある子供にとって、自分自身がどのような存在なのかを知るのは、大切なことです。自己のアイデンティティと言いますが、彼らの、自分自身のアイデンティティの原点は、お父さんとお母さんにあります。ですから、お父さんとお母さんの存在はとても大切です。そのお父さんとお母さんが、どういう存在であるかを認識していくのは、そのお父さんの傍らにいる人、またはお母さんの傍らに居る人、つまり配偶者同士が、相手に対してどのような評価を語っているかによるのです。現代においては、(私の育った家庭のように)さまざまな状況があって、必ずしもお父さんお母さんが、一緒に生活しているわけではない家族もあると思います。でもその中で成長する子供にとっては、自分が生活する家族のお互い同士が、お互いをどのように見ている、どのように語っているのかによって、幸福感や安心感が左右されていきます。配偶者同士、又は家族のメンバー同士、お互いに対して、良い評価を与えつつ、生活すると、それは子供の心にとって、おおいにプラスになります。日頃から、自分の配偶者に、また家族のメンバーに対して、どのようなコメントをしているか、それがとても子供に、そして彼らの生涯に大きな影響を与えます。

夫婦同士、そして家族のメンバー同士、お互いに対して、その存在も含めて、いつも感謝していきませんか。またお互いに対して、良きコメントを、良き評価を与えつつ、それを言葉にしつつ、日々過ごしてみませんか。その中から、素晴らしい子供たちが成長していきますよ。

校長 月井博

